

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月9日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【電子式線量計の一時不携帯について】 当社5・6号当直員が勤務終了後、中央操作室を退出する際、電子式線量計の着用を失念。 中央操作室から入退域管理棟まで構内バスの移動中、積算線量計(ガラスバッジ)は携帯していたが電子式線量計の一時不携帯が発生。 電子式線量計の一時不携帯区間について線量評価を実施する。	GⅢ	1月6日
2	【既設多核種除去設備 サンプルタンク移送ポンプ(A)の出口配管詰まりについて】 既設多核種除去設備 サンプルタンク移送ポンプ(A)の起動時、出口圧力が通常より高かったことから配管の詰まりと推定。 ポンプ(A)から(B)に切替を実施。 今後、現場調査予定。	GⅢ	1月7日